

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	中国財務局長
【提出日】	平成23年11月10日
【四半期会計期間】	第31期第2四半期（自平成23年7月1日至平成23年9月30日）
【会社名】	株式会社データホライゾン
【英訳名】	DATA HORIZON CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 内海 良夫
【本店の所在の場所】	広島市西区草津新町一丁目21番35号 広島ミクシス・ビル
【電話番号】	(082) 279 - 5525
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 内藤 慎一郎
【最寄りの連絡場所】	広島市西区草津新町一丁目21番35号 広島ミクシス・ビル
【電話番号】	(082) 279 - 5525
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 内藤 慎一郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第30期 第2四半期 連結累計期間	第31期 第2四半期 連結累計期間	第30期
会計期間	自平成22年 4月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 4月1日 至平成23年 9月30日	自平成22年 4月1日 至平成23年 3月31日
売上高(千円)	780,133	806,362	2,204,925
経常利益又は経常損失() (千円)	124,870	147,324	106,448
四半期純損失()又は 当期純利益(千円)	72,205	98,887	77,821
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	72,741	99,222	76,692
純資産額(千円)	1,020,423	954,292	1,114,435
総資産額(千円)	1,330,917	1,405,715	1,650,659
1株当たり四半期純損失金額()又は 当期純利益金額(円)	20.30	28.43	21.95
潜在株式調整後1株当たり四半期(当 期)純利益金額(円)	-	-	21.90
自己資本比率(%)	76.4	67.9	67.5
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	219,086	342,735	115,197
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	46,821	110,373	117,224
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	74,021	165,476	38,706
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	335,946	263,715	196,969

回次	第30期 第2四半期 連結会計期間	第31期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成23年 7月1日 至平成23年 9月30日
1株当たり四半期純損失金額() (円)	14.38	8.76

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 第30期第2四半期連結累計期間および第31期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

3. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

4. 第30期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定に当たり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社および当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、株式会社イーメディカルは平成23年6月28日付で解散しておりますが、清算手続未了のため連結の範囲に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中における将来に関する事項は、当第2四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、8億6百万円（前年同期比3.4%増）となりました。

損益面におきましては、当期も売上高が下半期に偏重することが予想され、また販売費が増加したことなどにより、営業損失1億43百万円（前年同期は1億23百万円の営業損失）、経常損失は1億47百万円（前年同期は1億24百万円の経常損失）、四半期純損失は98百万円（前年同期は72百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

医療関連情報事業

当第2四半期連結累計期間における医療関連情報事業の売上高は、7億97百万円（前年同期比3.8%増）となりました。また、セグメント利益につきましては、国民健康保険からの受注拡大を目指した体制強化による販売費の増加などで、52百万円のセグメント利益（前年同期比22.2%減）となりました。

売上高の内訳は次の通りです。

a 医療関連情報サービス

保険者向け情報サービスの売上高は、予想を超えた医療費適正化の成果により健康保険組合とのジェネリック医薬品通知サービスの契約の多くが前期までに成功報酬から定額制へ移行したことと、レセプトの電子化にともない契約単価が低下したことにより、2億58百万円（前年同期比38.5%減）となりました。

また、製薬会社向け情報サービスの売上高は、前年同期のようなスポットのサービスが当四半期には無く、20百万円（前年同期比69.9%減）となりました。

なお、保険者向け情報サービスの主力であるジェネリック医薬品通知サービスの受注状況は、全国健康保険協会（協会けんぽ）が継続するほか、国民健康保険からの受注が累計で60件となり順調に推移しておりますが、新規受注契約の多くは下半期からの売上計上となる予定です。

この結果、医療関連情報サービスの売上高は、2億78百万円（前年同期比42.8%減）となりました。

b 医療関連情報システム

COSMOSYSTEMS株式会社の子会社化の効果などで、保険薬局向けシステムの売上高は、3億60百万円（前年同期比159.3%増）となり、病院向けシステムの売上高は、1億26百万円（前年同期比49.7%増）となりました。

また、その他の医療関連情報システムの売上高は、医療関連の受託開発の検収が遅れたことなどにより31百万円（前年同期比44.9%減）となりました。

この結果、医療関連情報システムの売上高は、5億18百万円（前年同期比84.5%増）となりました。

その他

その他の売上高は、主に過去に販売しておりました医療関連以外のシステムのリプレースなどで、9百万円（前年同期比26.5%減）、セグメント利益は1百万円（前年同期比81.8%増）となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末より66百万円増加し、2億63百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果獲得した資金は、3億42百万円(前年同期は2億19百万円の獲得)となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純損失1億47百万円の計上などの資金の減少要因を、売上債権の減少額4億61百万円、減価償却費54百万円などの資金の増加要因が上回ったことであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、1億10百万円(前年同期は46百万円の使用)となりました。この主な要因は、無形固定資産の取得による支出84百万円、有形固定資産の取得による支出12百万円などであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、1億65百万円(前年同期は74百万円の使用)となりました。この主な要因は、短期借入金の返済による支出90百万円、配当金の支払いによる支出60百万円などであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの対処すべき課題に重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における当社グループの研究開発活動の金額は、55百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

(5) 経営成績に影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

当第2四半期連結累計期間において、当社グループの経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通しに重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月10日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	3,557,060	3,557,060	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数は100株 であります。
計	3,557,060	3,557,060	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額 (千円)	資本準備金残 高(千円)
平成23年7月1日～ 平成23年9月30日	-	3,557,060	-	454,200	-	154,200

(6)【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
内海 良夫	広島市中区	1,212	34.07
BNY GCM CLIENT ACCOUNT JPRD AC ISG (FE-AC) (常任代理人 ㈱三菱東京UFJ銀行)	PETERBOROUGH COURT 133 FLEET STREET LONDON EC4A 2BB UNITED KINGDOM (東京都千代田区丸の内2-7-1)	171	4.81
成和産業㈱	広島市西区商工センター1-2-19	120	3.37
㈱エヌ・ティ・ティ・データ	東京都江東区豊洲3-3-3	96	2.69
データホライゾン従業員持株会	広島市西区草津新町1-21-35	73	2.05
日本マスタートラスト信託銀行㈱(信託口)	東京都港区浜松町2-11-3	72	2.03
道下 太英子	広島市西区	52	1.47
万波 健二	京都市左京区	50	1.40
エイチシー3号投資事業組合	広島市中区銀山町3-1	46	1.29
日本証券金融㈱	東京都中央区日本橋茅場町1-2-10	40	1.13
計	-	1,934	54.37

(注) 1. 上記の所有株式数のうち、信託業務に係る株式数は以下のとおりであります。

日本マスタートラスト信託銀行㈱ 72千株

2. 上記のほか、自己株式が78千株あります。

(7)【議決権の状況】
【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 78,800	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,477,600	34,776	-
単元未満株式	普通株式 660	-	1単元(100株)未満の株式
発行済株式総数	3,557,060	-	-
総株主の議決権	-	34,776	-

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)データホライゾン	広島市西区草津新町 1-2 1-3 5	78,800	-	78,800	2.22
計	-	78,800	-	78,800	2.22

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）および第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	196,969	233,709
売掛金	750,629	289,163
有価証券	-	30,006
商品	2,123	4,722
仕掛品	14,314	45,923
原材料及び貯蔵品	11,905	9,904
その他	60,392	133,971
貸倒引当金	4,849	2,486
流動資産合計	1,031,484	744,911
固定資産		
有形固定資産	186,308	174,899
無形固定資産		
ソフトウェア	166,966	154,286
ソフトウェア仮勘定	-	63,000
のれん	4,696	3,929
その他	792	792
無形固定資産合計	172,454	222,007
投資その他の資産	260,413	263,898
固定資産合計	619,175	660,804
資産合計	1,650,659	1,405,715
負債の部		
流動負債		
買掛金	78,508	98,709
短期借入金	100,000	10,000
1年内返済予定の長期借入金	6,437	6,437
未払法人税等	25,360	24,960
賞与引当金	45,324	45,348
その他	163,979	160,146
流動負債合計	419,608	345,599
固定負債		
長期借入金	10,980	7,762
退職給付引当金	31,073	35,170
その他	74,562	62,891
固定負債合計	116,616	105,823
負債合計	536,224	451,423

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	454,200	454,200
資本剰余金	154,200	154,200
利益剰余金	559,793	400,001
自己株式	52,485	52,501
株主資本合計	1,115,707	955,899
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103	122
為替換算調整勘定	1,638	2,157
その他の包括利益累計額合計	1,741	2,035
少数株主持分	469	428
純資産合計	1,114,435	954,292
負債純資産合計	1,650,659	1,405,715

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	780,133	806,362
売上原価	528,232	502,381
売上総利益	251,901	303,980
販売費及び一般管理費	1 375,765	1 447,783
営業損失()	123,864	143,803
営業外収益		
受取利息	14	15
受取配当金	157	165
助成金収入	330	590
貸倒引当金戻入額	-	2,362
雑収入	857	976
その他	8	-
営業外収益合計	1,367	4,108
営業外費用		
支払利息	1,636	1,926
為替差損	633	633
持分法による投資損失	-	5,070
その他	103	1
営業外費用合計	2,372	7,630
経常損失()	124,870	147,324
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,514	-
特別利益合計	3,514	-
特別損失		
固定資産除却損	624	12
投資有価証券評価損	673	-
特別損失合計	1,297	12
税金等調整前四半期純損失()	122,654	147,336
法人税、住民税及び事業税	1,500	30,062
法人税等調整額	52,308	78,512
法人税等合計	50,808	48,450
少数株主損益調整前四半期純損失()	71,845	98,887
少数株主利益	360	0
四半期純損失()	72,205	98,887

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	71,845	98,887
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	640	225
為替換算調整勘定	256	561
その他の包括利益合計	896	335
四半期包括利益	72,741	99,222
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	73,112	99,181
少数株主に係る四半期包括利益	371	41

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	122,654	147,336
減価償却費	51,508	54,019
のれん償却額	767	767
貸倒引当金の増減額(は減少)	3,514	2,362
賞与引当金の増減額(は減少)	5,256	24
退職給付引当金の増減額(は減少)	493	4,097
受取利息及び受取配当金	171	180
支払利息	1,636	1,926
投資有価証券評価損益(は益)	673	-
持分法による投資損益(は益)	-	5,070
有形固定資産除却損	624	12
売上債権の増減額(は増加)	581,415	461,071
たな卸資産の増減額(は増加)	24,667	32,207
仕入債務の増減額(は減少)	59,052	20,341
その他	20,067	6,366
小計	401,736	371,608
利息及び配当金の受取額	171	180
利息の支払額	1,590	1,879
法人税等の支払額	181,232	27,174
営業活動によるキャッシュ・フロー	219,086	342,735
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	12,977	12,060
無形固定資産の取得による支出	30,395	84,793
投資有価証券の取得による支出	-	10,000
その他の支出	3,448	3,520
投資活動によるキャッシュ・フロー	46,821	110,373
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	90,000
長期借入金の返済による支出	3,218	3,218
自己株式の取得による支出	67	16
配当金の支払額	62,249	60,904
リース債務の返済による支出	8,487	11,337
財務活動によるキャッシュ・フロー	74,021	165,476
現金及び現金同等物に係る換算差額	241	140
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	98,003	66,746
現金及び現金同等物の期首残高	237,943	196,969
現金及び現金同等物の四半期末残高	335,946	263,715

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間
(自平成23年4月1日
至平成23年9月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更および過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)および「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)																												
<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">役員報酬</td> <td style="text-align: right;">43,200 千円</td> </tr> <tr> <td>給料手当</td> <td style="text-align: right;">64,495 千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">9,495 千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">1,852 千円</td> </tr> <tr> <td>研究開発費</td> <td style="text-align: right;">39,197 千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td style="text-align: right;">5,646 千円</td> </tr> <tr> <td>のれん償却額</td> <td style="text-align: right;">767 千円</td> </tr> </table>	役員報酬	43,200 千円	給料手当	64,495 千円	賞与引当金繰入額	9,495 千円	退職給付費用	1,852 千円	研究開発費	39,197 千円	減価償却費	5,646 千円	のれん償却額	767 千円	<p>1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目および金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">役員報酬</td> <td style="text-align: right;">55,470 千円</td> </tr> <tr> <td>給料手当</td> <td style="text-align: right;">118,817 千円</td> </tr> <tr> <td>賞与引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">22,091 千円</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">7,117 千円</td> </tr> <tr> <td>研究開発費</td> <td style="text-align: right;">35,186 千円</td> </tr> <tr> <td>減価償却費</td> <td style="text-align: right;">6,402 千円</td> </tr> <tr> <td>のれん償却額</td> <td style="text-align: right;">767 千円</td> </tr> </table>	役員報酬	55,470 千円	給料手当	118,817 千円	賞与引当金繰入額	22,091 千円	退職給付費用	7,117 千円	研究開発費	35,186 千円	減価償却費	6,402 千円	のれん償却額	767 千円
役員報酬	43,200 千円																												
給料手当	64,495 千円																												
賞与引当金繰入額	9,495 千円																												
退職給付費用	1,852 千円																												
研究開発費	39,197 千円																												
減価償却費	5,646 千円																												
のれん償却額	767 千円																												
役員報酬	55,470 千円																												
給料手当	118,817 千円																												
賞与引当金繰入額	22,091 千円																												
退職給付費用	7,117 千円																												
研究開発費	35,186 千円																												
減価償却費	6,402 千円																												
のれん償却額	767 千円																												

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)										
<p>1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成22年9月30日現在)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">335,946千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">335,946千円</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	335,946千円	現金及び現金同等物	335,946千円	<p>1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年9月30日現在)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 80%;">現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">233,709千円</td> </tr> <tr> <td>有価証券</td> <td style="text-align: right;">30,006千円</td> </tr> <tr> <td style="border-top: 1px solid black;">現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px solid black;">263,715千円</td> </tr> </table>	現金及び預金勘定	233,709千円	有価証券	30,006千円	現金及び現金同等物	263,715千円
現金及び預金勘定	335,946千円										
現金及び現金同等物	335,946千円										
現金及び預金勘定	233,709千円										
有価証券	30,006千円										
現金及び現金同等物	263,715千円										

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成22年6月25日 定時株主総会	普通株式	62,249	17.5	平成22年3月31日	平成22年6月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月28日 定時株主総会	普通株式	60,904	17.5	平成23年3月31日	平成23年6月29日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	医療関連 情報事業				
売上高					
外部顧客への売上高	767,684	12,450	780,133	-	780,133
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	767,684	12,450	780,133	-	780,133
セグメント利益	67,400	716	68,116	191,981	123,864

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療関連以外のシステムのリプレイス等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 191,981千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	医療関連 情報事業				
売上高					
外部顧客への売上高	797,208	9,154	806,362	-	806,362
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	797,208	9,154	806,362	-	806,362
セグメント利益	52,459	1,302	53,761	197,564	143,803

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療関連以外のシステムのリプレース等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額 197,564千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額および算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純損失金額	20円30銭	28円43銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	72,205	98,887
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	72,205	98,887
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,557	3,478

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月10日

株式会社データホライゾン
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	小松原浩平 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	高山裕三 印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	谷宏子 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社データホライゾンの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成23年7月1日から平成23年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社データホライゾン及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。